

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	石垣市家庭教育支援チーム (呼称:結 RIN)
②活動拠点	石垣市
③活動範囲	石垣市内
④組織体制	20 人 子育てサポーター 20名 (民生委員・教員・看護師・調理師・保育士含む)
⑤活動開始年度	平成17年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 石垣市家庭教育支援チーム結 RIN 高宮城 さえか (TEL)090-4471-0258 (E-mail)saetaka50@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 <input type="checkbox"/> 「結RIN子育て」の開催 私達の活動する「結RIN子育て」の「結RIN」は、「子育てライフを明るく、楽しく過ごせるように、子育てセミナーを通して手を取り合い、協力しながら、

	<p>一人一人と繋がっていけるように」という想いからつけました。</p> <p>子育てセミナーは、石垣市内の双葉公民館で開催しています。</p> <p>参加対象は妊婦さんから高校生までのお子さんを持つお父さん、お母さんです。</p> <p>セミナーは、年間 6 回を予定しており、毎回テーマを揚げ、講師によるテーマに沿った講話や、参加者同士で悩みの共有、子育てのことをグループで話し合う時間を設け、話し合いで出た質問・疑問に対して、講師が実体験や実例を話しながら答えます。</p> <p>○子育て委員の学習会</p> <p>子育て委員として情報を共有し、活動方法のより良い対応法や知識を学んでいくための学習会を 2 か月に 1 回開催しています。</p> <p>○こども倫理塾の開催</p> <p>主に小学生を対象にしたこども倫理塾で「遊び」「学び」「しつけ」を3本柱に、子供達が楽しめる内容です。子育てセミナーと同日開催で、別の部屋で行われます。</p> <p>初めに子供がリーダーとなり、下記の「5アクト」を参加者で唱和。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつは明るくハッキリ自分から ・ 返事は「ハイ」と元気よく ・ 手伝いは先にのばさずすぐ実行 ・ 背筋をのばしてまっすぐに正しい心は姿勢から ・ 物は友達大事な仲間 感謝を込めてあとしまつ <p>その後、各月の企画内容に移ります。</p> <p>昨年度は、「短歌づくり」「おりがみで箱鶴づくり」「母の日のプレゼント作成」等を行いました。こういった活動を楽しみながら、挨拶や返事の仕方、仲間と協力する事や後片付けなどを学ぶことを目的としています。</p> <p>○ミーティング</p> <p>月1回程、反省点等話し合う時間を持ち、企画や開催内容などを決めていきます。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>【子育てセミナーに参加した方からの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションで他のお母さん方と話して、子育てに対し悩んでいるのは自分だけではないのだということが分かって良かった。ホッとした。 ・講師のお話を聞いて、もっともっと子供と触れ合う時間、向き合う時間を持ちたいと思いました。 ・自分の家庭の様子を冷静に見つめ返すことができました。子供の笑顔の為にも、夫婦のコミュニケーション(時間)も作って、家庭の雰囲気良くしていきたいと思います ・「ほめ方・叱り方」の違いを知りました。些細な事や当たり前の事もたくさん

	<p>褒めてあげたいと思います。 との感想がありました。</p> <p>○「子供倫理塾」では、遊びながら学ぶことで、物への感謝の気持ち、上級生が下級生を思いやる気持ちがでてきて、グループでする活動もスムーズになりました。</p> <p>「おりがみ」の活動では、上級生が下級生に箱鶴の折り方をやさしく教えてあげる様子も見られました。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (主催の家庭倫理の会より予算を組んでいただき活動しています。)</p>